

長崎北病院 伝言板 8月号

令和6年8月1日発行

8月。暑い。数十年前に学校で「日本は温帯」と習いました。温帯は緯度30度から50度。日本はすっぽり入っています。以前は夏でも気温は30度前後。うちわ、風鈴、スイカ、ビニールプールで何とか凌げていました。最近は30度は涼しい、35度超えが当たり前の時代。エアコンがなければ死にます。雨の降り方もスコール。どうみても「日本は亜熱帯」。海には熱帯魚、陸にはヤシの木は嫌です。



Paris 2024 Olympics

梅雨がないはずの北海道で雨が続き、東北、北陸では大水害。南は酷暑。気温40度超えのところまで出現。日本は亜熱帯。地球がおかしい。何とかしなくちゃ!!です。

そう言いながらエアコンの中でまったり。空調の効いた部屋でテレビ三昧は宜しくないが最高。さらに、パリオリンピック開幕で夜更かしの方も。オリンピックも国が違えばその景色も色々。東京オリンピックはコロナで寂しかったですが、運営は整然、正確。

今回のパリは芸術の都。感性で勝負。首を落とされたマリーアントワネットが生首を抱えて歌う開会式の演出は凄すぎ。日本であれば腹切、打首された生首が歌う状況ですかね。コンプライアンス違反間違いなし。



しかし、馬術はベルサイユ宮殿、スケートボードはフランス革命の中心地コンコルド広場、エッフェル塔の下でビーチバレー。文化遺産を織り込んでフランスの伝統とエスプリ満載。トライアスロンの水泳会場はセーヌ川。汚くて有名。日本の道頓堀川や神田川で泳ぎたい人はいないでしょう。セーヌ川の大腸菌数は道頓堀川の

4倍。雨が降ると汚水が流れ込んで12倍まで跳ね上がるそうです。開会式の雨で水質が悪化し、トライアスロンは延期。どうしてもセーヌ川で泳ぐ姿が見たかったのでしょうか、お泳いだ後に下痢や発熱をしなかった強靱?な人が優勝となりかねません。開会式で国名を間違う、選手村の料理が不足、シャトルバスがこないなど問題満載ですが「これもパリ、これぞフランス」。きっとParfait!(パルフェ:完璧)でしょうか。お国柄。

フランスから大西洋を挟んだアメリカでは大統領選挙の真っ最中。悪口のオンパレード。「老人」「詐欺師」「信用できない」「クビだ」「豚といったら豚に失礼」などなど罵詈雑言(ばりぞうごん)。フェイクニュースや誹謗中傷、ネガティブキャンペーン。有名人も参入し何百億の金が舞う。何でもござれ。米国人が好む言葉に「Justice」があります。日本語で言えば「正義・公正」でしょうか。どこがjusticeかと思いますが、正々堂々と自己責任で悪口を言い合う姿はこれで大統領が決まるのかと思いつつも、ある意味爽快。料亭でこそと決まっていって日本、昔から饅頭の下に小判、裏金が好きな日本、「越後屋、おぬしも悪よの一」で一件落着の日本に比べると確かにまだ表に出ている分「Justice」でしょう。大統領、首相選び、選挙もまた国民性が出ます。

ところで、最近、漢字が書けない。読むのは大丈夫ですが書こうとすると自信がない。適当に誤魔化したり、平仮名で書いたり。漢字忘れ。確かに最近はスマホ、パソコンでの入力がほとんどで手書きは激減。このままではまずい。まずは新聞でも何でも読む習慣。スケジュールやメモなどはできるだけ手書きで。出てこない漢字はすぐ調べて確認。などが良いそうです。



でも最近の子供は授業もiPadやパソコン。ノートをとることが少なくなると手書き習慣は減っていく。漢字忘れではなく、もともと書けないことになるのでは? 字は汚いが日本語、漢字は好き。綺麗な文字をみると感激します。残したい漢字文化。でも伝言板もパソコンです。(A.S.)